

12 月の沖縄地方の平均気温が最も高い値（1 位タイ）を記録 および沖縄周辺海域の海面水温が過去最高

沖縄地方の 2016 年 12 月の地域平均気温平年差は +1.9℃ となり、12 月としては統計を開始した 1946 年以来最も高い値（1 位タイ）を記録しました。沖縄県内では多くの地点で 12 月の「月平均気温の高い方から」の記録を更新しました。

また、12 月の沖縄周辺の海面水温も平年よりかなり高く、東シナ海南部と沖縄の南の海面水温は、12 月としては解析値の存在する 1982 年以来最も高くなりました。

1. 沖縄県での 2016 年 12 月の月平均気温

- ・ 沖縄地方の 12 月の地域平均気温平年差 +1.9℃（1 位タイ）
（これまでの 1 位は、1994 年の +1.9℃ でした。地域平均気温平年差とは、那覇、久米島、宮古島、石垣島、与那国島の 5 地点の平年差を平均した値です。）
- ・ 「月平均気温の高い方から」の 12 月の 1 位を更新した地点
16 地点 / 全 26 地点

別紙の表 1 に 12 月の「月平均気温の高い方から」の 1 位を記録した各地点（統計期間 10 年以上）の観測値を示します。また、参考までに、那覇の 2016 年の旬平均気温も図 1 に示します。

2. 沖縄周辺海域の 2016 年 12 月の平均海面水温

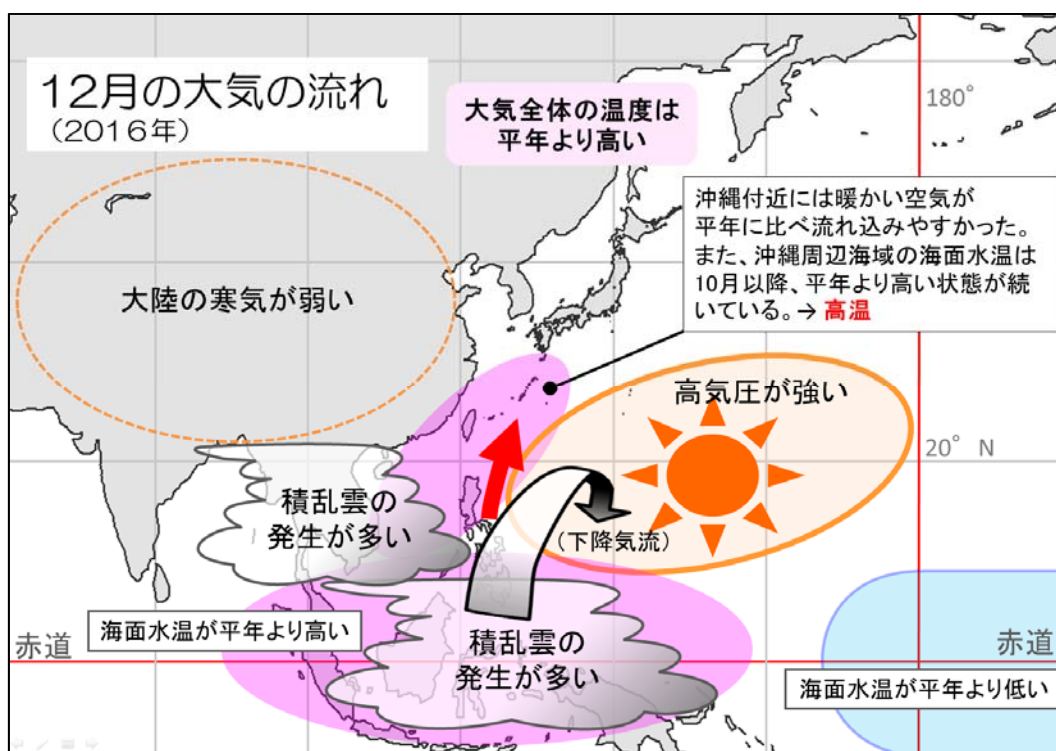
- ・ 東シナ海南部の 12 月の平均海面水温平年差 +1.5℃（第 1 位を更新）
（これまでの 1 位は、1998 年の +1.2℃ でした。平均海面水温平年差とは、別紙 2 で示す「東シナ海南部」海域の平年差を平均した値です。）
- ・ 沖縄の南の 12 月の平均海面水温平年差 +1.5℃（第 1 位を更新）
（これまでの 1 位は、2015 年の +1.4℃ でした。平均海面水温平年差とは、別紙 2 で示す「沖縄の南」海域の平年差を平均した値です。）

別紙に各海域における平均海面水温や上位の年（表 2）と月平均水温分布図（図 2）および旬平均 100m 深水温分布図（図 3）を示します。

3. 高温となった要因

昨年秋から発生しているラニーニャ現象に伴いインドシナ半島付近やインドネシア付近で対流活動が活発（積乱雲の発生が多い）となった一方、フィリピンの東から日本の南東海上では対流活動が不活発で、平年に比べ高気圧が強まりました。このため、この高気圧の縁を回る南からの暖かい空気が、沖縄付近に流れ込みやすくなりました。また、シベリア高気圧が発達せず、平年と比べて冷たい季節風の影響を受けにくい状況が続きました。さらに、沖縄周辺海域では海洋表層の水温が平年より高い状態が続きました。

このため、12月の沖縄地方の平均気温、沖縄周辺の海面水温はともに記録的な高さとなりました。



2016年12月の大気の流れ（沖縄付近の天候に関係した主な部分の模式図）

月別、旬別の沖縄県の天候についての詳細は、「沖縄地方の天候」や「沖縄県農業気象旬報」をご覧ください。

<http://www.jma-net.go.jp/okinawa/menu/syokai/toukei/tenkou.htm>

海面水温の最新の状況と見通しは、「海洋の健康診断表 海面水温・海流（沖縄周辺海域）」をご覧ください。

http://www.data.jma.go.jp/gmd/kaiyou/data/shindan/f_6/jun_OK/kaikyo_OK.html

本件に関するお問い合わせ先：地球環境・海洋課
電話：098-918-4012

表1. 2016年12月の「月平均気温の高い方から」の記録を更新した地点
(16地点/全26地点)

観測地点	月平均気温 (°C)	平年差 (°C)	12月としてのこれまでの1位		統計開始年/月
			月平均気温(°C)	年	
伊是名	20.2	+2.2	20.1	2004	1977/03
粟国	20.6	+1.9	20.2	2004	2003/01
名護	19.8	+1.8	19.5	1994	1966/08
北原	20.7	+2.0	20.3	2015	2003/01
久米島	20.7	+2.1	20.2	1998	1958/07
渡嘉敷	18.9	+1.8	18.7	1994	1977/03
那覇	20.5	+1.8	20.2	2004	1910/01
慶良間	20.8	+1.7	20.4	2004	2003/01
安次嶺	20.8	+1.5	20.6	2004	2003/01
下地	21.8	+2.1	21.5	2015	2003/01
宮古島	21.6	+1.9	21.5	1994	1938/01
鏡原	21.3	+2.0	21.1	2015	2003/01
仲筋	22.0	+2.0	21.6	2015	2003/01
所野	21.9	+1.9	21.7	2015	2003/01
西表島	21.7	+2.2	21.6	1994	1954/02
志多阿原	22.5	+1.8	22.3	2015	2003/01

- ・値は速報値であるため修正される可能性があります。
- ・平年値の統計期間は1981～2010年です。
- ・統計期間が10年以上の地点について掲載しています。

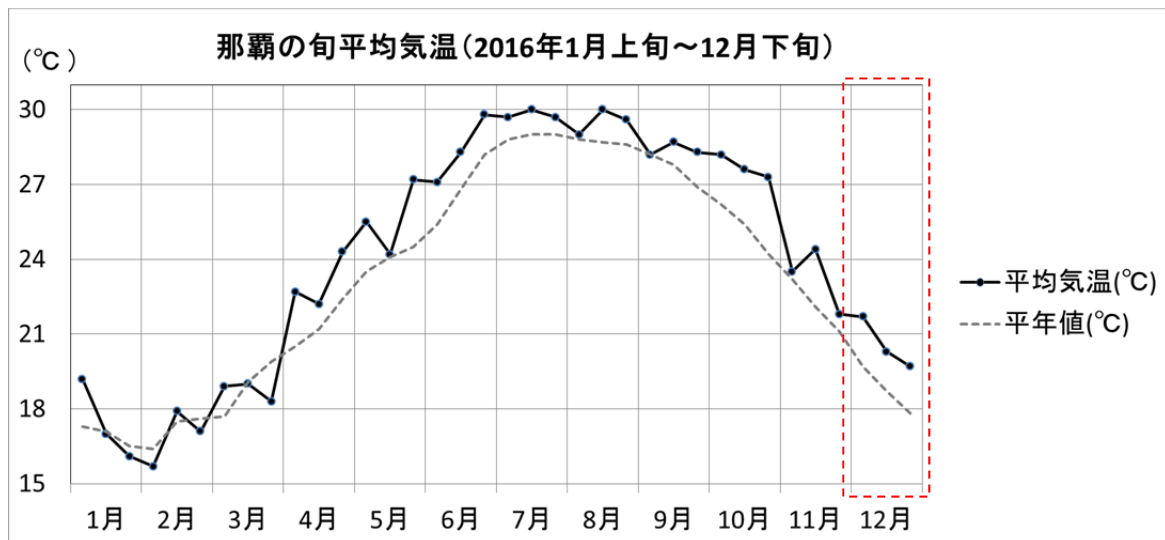


図1. 那覇の旬平均気温(2016年1月上旬～12月下旬)、赤破線枠は12月
那覇では2016年4月以降、気温が平年を上回る状態がほぼ続き、夏(6月～8月)と秋(9月～11月)は、「平均気温の高い方から」の記録をそれぞれ更新しました。また、那覇の2016年の年平均気温は、統計開始以来2番目に高い記録となりました。(1910年に統計開始)

表2. 沖縄周辺海域の12月の平均海面水温が高かった年

東シナ海南部			沖縄の南		
年	平均海面水温 (°C)	平年差 (°C)	年	平均海面水温 (°C)	平年差 (°C)
2016	23.1	+1.5	2016	26.5	+1.5
1998	22.8	+1.2	2015	26.4	+1.4
2000	22.7	+1.1	1998	26.3	+1.3

・人工衛星とブイ・船舶による観測値から解析された海面水温です。2016年の値は速報値ですので、後から入手した観測値によって更新されることがあります。平年値は1981年から2010年の平均値です。

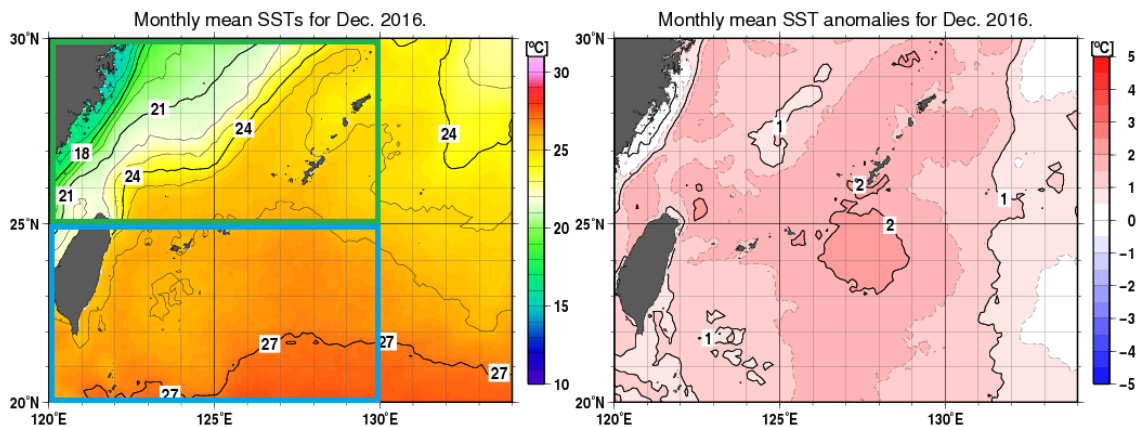


図2. 沖縄周辺海域の月平均海面水温および平年差の分布図(2016年12月)

・人工衛星とブイ・船舶による観測値から解析された海面水温(左図)および平年差(右図)です。速報値ですので、後から入手した観測値によって更新されることがあります。上図中の緑枠は「東シナ海南部」、青枠は「沖縄の南」として海面水温および平年差を平均する領域を示しています(表2)。平年値は1981年から2010年の平均値です。

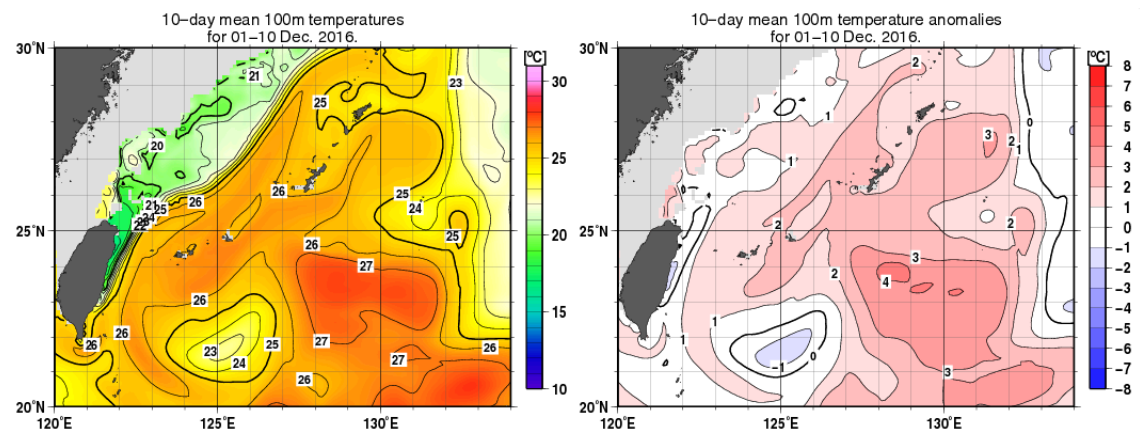


図3. 沖縄周辺海域の旬平均100m深水温および平年差の分布図(2016年12月上旬)

・深さ100mの水温(左図)及び平年差(右図)を示しています。灰色は海底が100mより浅いところ。速報値ですので、後から入手した観測値によって更新されることがあります。平年値は1982年から2010年の平均値です。